

◎プルゼニド錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 センノシド sennoside 【分類】 緩下剤

【単位】 ◎12mg/錠

【常用量】 1～2 錠/回

【用法】 分1 [主に寝る前]

【透析患者への投与方法】 大部分は糞便中に排泄されるため減量の必要はない (5)

【その他の報告】 炭酸カルシウムやカリウム吸着レジンは原因の硬結便には本剤よりもソルビトールなどの糖類下剤が適切である (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 センノシドは腸内細菌によって **rhein anthrone** となって消化管内腔側から働き、運動亢進と水分量増加を起こさせ瀉下作用を発揮する。長期連用によって大腸メラノーシスを発生させたり、アウエルバッフ神経叢の不可逆性障害を起こすことがあるので注意。

【主な副作用・毒性】 腹痛、悪心・嘔吐、腹鳴など

【安全性に関する情報】 急性腹症が疑われる患者、痙攣性便秘の患者は本剤投与により腹痛が増悪することがあるため禁忌 (1) 重症の硬結便のある患者では下剤の経口投与では十分な効果が得られず、腹痛等の症状が増悪するおそれがあるため禁忌 (1) 腹部手術後の患者は腹痛等がみられるので慎重投与 (1)

【F】 5%以下 (11)

【代謝】 センノシド自身は活性を持たないため、腸内細菌によって代謝されて活性体となる (11)

【排泄】 糞便中 (腎) 排泄 (1)

【MW】 862.7

【備考】 連用により耐性を生じ薬が効かなくなるので長期連用は避ける。尿が黄褐色から赤色を呈することがある。

【更新日】 20180801

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。